

第 2 3 1 号

連 携 室 だ よ り



公益財団法人
北海道医療団

帯広第一病院



帯広第一病院理念・基本方針

【理 念】

地域に信頼される病院を目指し、質の高い、思いやりのある医療サービスを提供する。

【基 本 方 針】

- 1 患者の皆様の安全と権利を守ります。
- 2 地域医療機関との連携を推進します。
- 3 救急医療の充実に努めます。
- 4 研修や教育を積極的に行います。
- 5 働きがいのある職場を作ります。

令和7年度新入職員歓迎式



帯広第一病院・なかよし保育所



介護老人保健施設とかち



帯広西病院

Zoomで各施設へ理事長の
挨拶をライブ配信しました！

今号の内容

- ・ 新任医師紹介 (2)
- ・ 消化器内科部長 消化器内視鏡センター長就任のご挨拶 高橋 隆宏
2024年外科手術実績報告 副院長 井伊 貴幸 (3)
- ・ 忠類診療所 所長挨拶 忠類診療所 所長 田中 裕之
ケアマネジメントセンターほほえみ・ヘルパーステーションほほえみの施設紹介
ケアマネジメントセンターほほえみ 所長 船田 知美 / ヘルパーステーションほほえみ 所長 南岡 美恵 .. (4)

新任医師紹介

～4月より着任されました3名の先生方にインタビューをしました～



総合診療科

専門分野：小児科

うえたけ きみあき
植竹 公明

昭和59年3月 山口大学医学部 卒業
前勤務先 帯広厚生病院 小児科
令和7年4月 帯広第一病院 着任

1 小児科を選んだ理由

子供が好きなので小児科を選びました。

2 当院の印象

皆さん活発に行動なさっていて、ハードワークな印象を受けました。

3 当院でやりたいことは？

帯広厚生病院で診ていた患者さんのレスパイトを以前から受けて頂いており、その患者さんがだんだん年を経て大人になり、お年寄りになっていくところを今までは診ていなかったので興味があり、当院で色々学びたいと思います。

4 これからの抱負

歳を重ねていくというのがどういうことなのかを勉強していきたいです。まだ右も左もわからない状態ですが、少しでも先生方のお役に立てるようになればと思います。

5 地域の先生方へ一言

職場は変わりましたが、今後も一生懸命やっていくつもりなのでご指導ご鞭撻の程よろしくお願いします。



消化器内科

専門分野：下部消化管

うるしやま みき
漆山 みき

平成28年3月 獨協医科大学医学部医学科 卒業
前勤務先 東北大学病院 消化器内科
令和7年4月 帯広第一病院 着任

1 消化器内科を選んだ理由

内視鏡治療に興味があり、実家が消化器内科で開業していたからです。

2 当院の印象

着任する前に診療応援で何度か来させていただいており、皆さんテキパキと働いている印象です。

3 当院でやりたいことは？

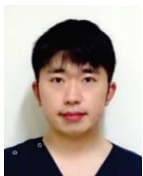
本格的な臨床は数年ぶりなので、以前の感覚を早めに取り戻して消化器内科の一員として働いていけたらと思います。

4 これからの抱負

技術を落とさないよう頑張りたいと思います。

5 地域の先生方へ一言

北海道に住むのが初めてなので、地域の事情などわからずご迷惑をかけてしまうかもしれませんが、精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。



歯科口腔外科

専門分野：口腔外科

なかむら たろう
中村 太郎

令和6年3月 東北大学歯学部 卒業
令和7年4月 帯広第一病院 着任

1 口腔外科を選んだ理由

う蝕や歯周病のみならず、口腔内の疾患全般を診れるようになりたかったからです。

2 当院の印象

地域に根差した病院という印象です。

3 当院でやりたいことは？

口腔外科疾患を診る目を養いたいです。

4 これからの抱負

患者様に安心して治療を受けていただけるよう精進してまいります。

5 地域の先生方へ一言

お世話になることも多いかと思いますが、何卒よろしくお願いします。

消化器内科部長 消化器内視鏡センター長就任のご挨拶

高橋 隆宏



春光うらかな季節となり、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。このたび、公益財団法人 北海道医療団 帯広第一病院 消化器内科部長に就任いたしました高橋隆宏でございます。まずは近隣医療機関の皆様にご挨拶申し上げますとともに、今後の所信を述べさせていただきます。

私は東北大学大学院医学系研究科 消化器病態学分野において正宗淳教授の指導のもと、主に下部消化管疾患を中心に研鑽を積んでまいりました。2023年4月より当院に赴任し、前部長である鈴木郁医師の異動に伴い、2025年4月より現職を拝命することとなりました。なにごとにぶん若輩者ではございますが、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

当科では内視鏡検査（上・下部消化管内視鏡、超音波内視鏡、内視鏡的逆行性胆管膵管造影）をはじめ、腹部超音波検査、CT検査、MRI検査などによる消化器疾患の診断・治療に尽力しております。2024年度には内視鏡検査を8,000件以上実施し、胃がんや大腸がんをはじめとする消化器疾患の診断・治療に貢献してまいりました。これもひとえに地域の皆様との密接な連携の賜物であり、心より感謝申し上げます。

また、外科手術が必要な患者様に対しましては、外科と連携し迅速かつ適切なタイミングでの治療を提供できるよう体制を整えております。精査や治療が必要な患者様がいらっしゃいました際には、ぜひ地域連携室を通じてご紹介いただけますようお願い申し上げます。患者様にとって最良の治療を提供できるよう、全力を尽くしてまいります。

今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2024年外科手術実績報告

副院長 井伊 貴幸



十勝管内の先生方にはいつも大変お世話になっております。

2024年1月～12月における当院の手術実績をご報告致します。

全手術数は688例、全身麻酔547例となりました。そのうち腹腔鏡手術は358例で、全身麻酔手術の約65%が腹腔鏡で行われております。その比率はここ数年で大きな変化はなく、高い水準を維持しております。

2023年4月より、肝胆膵外科高度技能専門医である土屋朗之医師が当院に赴任後、肝胆膵外科の手術件数が大幅に増えております。2024年は高難度肝胆膵外科手術が30件以上、重篤な合併症なく安全に行われました。引き続き当院が現在の診療体制を維持し、十勝の皆様のお役に立てるように今後も努力してまいります。

2023年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行後は手術件数が増加し、最終的には2023年、2024年と2年連続で過去最高の件数を更新しております。管内の先生方から多くの患者様をご紹介いただきましたことを感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

先生方には引き続き御指導、御鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

2024年1月～12月までの実績

胃癌手術	29例	膵癌手術	19例
・うち腹腔鏡手術	16例	虫垂切除	56例
結腸癌手術	69例	・うち腹腔鏡手術	56例
・うち腹腔鏡手術	51例	ヘルニア手術	96例
直腸癌手術	43例	・うち腹腔鏡手術	52例
・うち腹腔鏡手術	31例	乳腺手術	4例
胆嚢摘出術	151例	その他	205例
・うち腹腔鏡手術	137例		
胆道癌手術	7例	手術総数	688例
肝癌手術	9例	腹腔鏡手術総数	358例

忠類診療所 所長挨拶

忠類診療所 所長 田中 裕之

はじめまして。この度、忠類診療所の所長に就任することとなりました。

鳥取県の米子市の出身です。父が転勤族だったこともあり、南は福岡、北は東京、引っ越しは数えきれないほどしてきました。

医学部を卒業後はしばらく大～中小の病院の総合診療科で働いていましたが、ここ3年間は、道内の診療所で働いています。

総合病院と違って、診療所では医者は私一人ですから、得意・不得意などと言わず、文字通り頭から足の先まで全身を丁寧にみてきました。

大きな病院はとても頼りになりますが、体調を崩してから大きな病院に入院して治すのではなく、診療所の段階でそれをいかに防ぐかが重要だと思います。

私が専攻してきた総合診療科というのは、心臓カテーテル検査や、内視鏡、手術などの華々しい技術を披露するものではなく、決してありませんが、基本的でそれゆえに一番重要な土台を丁寧に皆さんに届けたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

ケアマネジメントセンターほほえみ ヘルパーステーションほほえみの施設紹介

ケアマネジメントセンターほほえみ 所長 船田 知美 ヘルパーステーションほほえみ 所長 南岡 美恵



ケアマネジメントセンターほほえみは、現在主任介護支援専門員3名を含む5名体制で、要介護認定を受けている方のケアマネジャーを担当しております。

地域の皆様が出来の限りご自宅で自立した生活を営む事が出来るよう支援させていただきます。

ご自宅での生活について相談したいという事がありましたら、お気軽にご連絡頂ければと思います。

ヘルパーステーションは、現在10名体制で主に音更地区を中心に訪問させて頂いております。

私たちの理念である「地域の皆様が住み慣れた我が家でいつまでも安心して暮らせるように、皆様にとってあたりまえの生活が継続できるように」をモットーに、ケアマネジメントセンター、ヘルパーステーション両事業所一同、尚一層研鑽していきたいと思っていますので、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



ケアマネジメントセンターほほえみ



ヘルパーステーションほほえみ

発行 公益財団法人北海道医療団 帯広第一病院 地域医療連携室

〒080-0014 帯広市西4条南15丁目17番地3

TEL 0155-25-3121 (病院代表) / 0120-558-091 (連携室直通)

FAX 0155-27-0248 (連携室専用) e-mail renkei@zhi.or.jp

